

2024年10月31日

報道機関 各位

令和7年度から「ソーシャル・データサイエンス・プログラム」を開始 (経済学部・情報データ科学部)

長崎大学では経済学部と情報データ科学部が連携して、企業、NPO、政府や地方自治体における定量的・定性的な根拠に基づく経営戦略や公共政策の立案・実施に貢献する人材の育成を行うための「ソーシャル・データサイエンス・プログラム」を開始します。

概要

人口減少・少子高齢化社会やグローバル社会にあって、人・モノ・金・情報などの経営資源を有効に活用するためには、明確な根拠に基づく戦略や政策の立案が求められています。長崎大学経済学部と情報データ科学部では、このような社会ニーズに対応するため、令和7年4月より企業、NPO、政府や地方自治体における定量的・定性的な根拠に基づく経営戦略や公共政策を立案・実施できる人材の育成を目指した「ソーシャル・データサイエンス・プログラム」を開始します。このプログラムでは、経済学部の学生がデータサイエンスを、情報データ科学部の学生が経済学や経営学などのソーシャルサイエンス（社会科学）を、それぞれの専門性を活かしながら学びます。

プログラム実施にあたっては、経済学部と情報データ科学部の教員がオンライン・対面の講義・演習を組み合わせたハイブリッド型の授業を実施し、卒業単位およびプログラム修了を認定します。プログラムを修了した学生には、長崎県内外の企業やNPO、政府や地方自治体における活躍が期待できます。例えば、以下のような進路をイメージしています。

- 観光客の人流・購買データの収集・分析を踏まえた施設運営・宿泊、土産物や交通にかかるモノやサービスの開発に従事し、長崎の観光振興に貢献
- 企業にかかる物流・経営データの収集・分析を踏まえた地域産業の発展にかかる地域政策の立案に従事し、長崎の地域経済循環における漏出の低減に貢献

特色

本プログラムでは、ソーシャルサイエンス及びデータサイエンスの基本的な講義科目に加えて、実際の社会課題やビジネス課題を題材として、関連する情報やデータを収集・分析し、解決策の提案を行う実務に即した演習型授業を配置します。また、学生自身が市場分析やビジネス戦略を立案するなど、学生の主体的な学びを促進する授業を行います。さらに、将来的にはデータ活用に精通した実務家や政策担当者を招いた講義やワークショップなどを増やすことで、学生が現場のリアルな課題や最新の動向について知識を深めるとともに、キャリア・イメージを持つことを可能にします。

また授業は、オンラインと対面を組み合わせた「ハイブリッド型」で実施します。講義科目はオンラインを活用することで、経済学部・情報データ科学部の学生がキャンパスを越えて一緒に学ぶ環境を作り出します。一方、ディスカッションやプレゼンテーションなど、インタラクティブな学習が求められる場面では対面授業を実施し、学生同士や教員との交流を深めます。

育成する能力

「ソーシャル・データサイエンス・プログラム」では、以下の能力を育成することで、地域社会や産業界、公共政策など多様な分野に貢献できる人材を輩出します。

課題発見力：経済学や社会科学の知識を活用し、地域社会やビジネス、公共政策の分野で起きている課題を発見・定義する力を育てます。例えば、人口減少に伴う労働力不足や高齢化社会での医療・福祉の課題、気候変動に伴う災害リスクなど、現代社会が直面する様々な問題に対して、データを活用してその本質を明らかにする能力を養います。

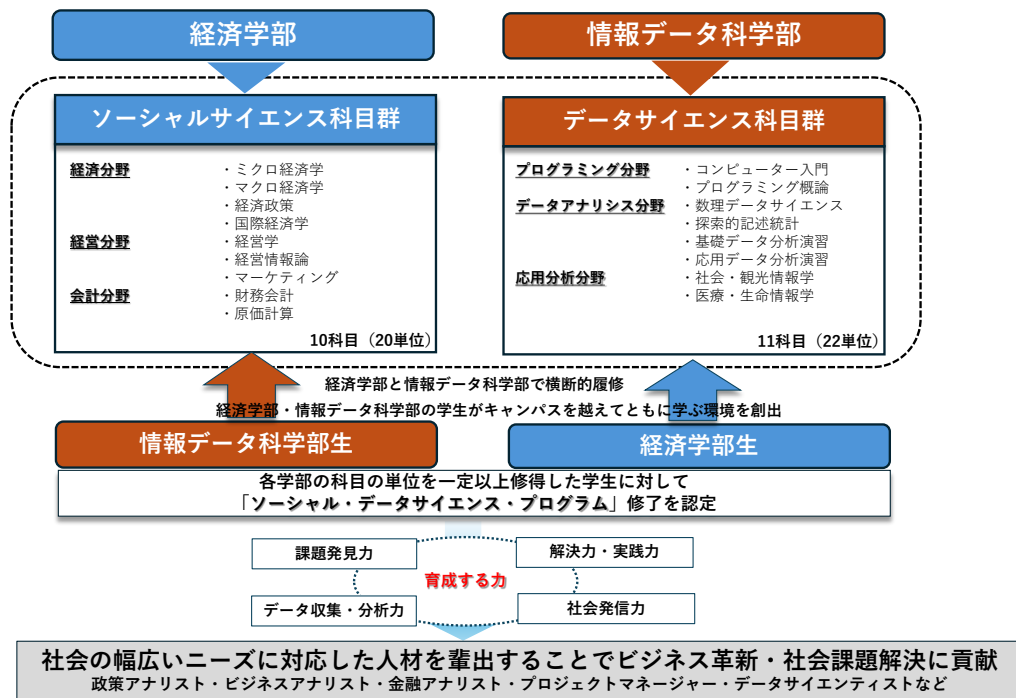
データ収集・分析力：データサイエンス教育を通して、実社会の課題に関連する多種多様なデータの収集と分析方法を習得します。具体的には、統計分析、機械学習、人工知能などの技術を駆使し、課題の原因や傾向をデータから読み解く力を身につけます。これにより、社会の複雑な問題に対して、エビデンスに基づいた分析と解決策の提案ができるようになります。

解決力・実践力：学んだデータ分析手法や経済学的視点をもとに、発見した課題に対して効果的な解決策を提案、実際にその解決策を現場で試みる実践的な能力を身につけます。例えば、企業のマーケティング戦略の最適化や、地方自治体の政策立案、災害リスクの予測モデルの構築など、分析の結果を社会実装するスキルを高めます。

社会発信力：産学官連携やインターンシップを通じて、プログラムの学びを社会で実践する機会を設けます。また、実践で得られた知見を学びに還元することで、理論と実践の双方から課題解決力を高めます。このような経験を通して、データサイエンスのスキルだけでなく、社会のニーズに対応した解決策を生み出すことができる能力を育成します。

図：ソーシャル・データサイエンス・プログラムの概要

社会科学とデータサイエンスが融合した学部生向けの新たな履修プログラム (ソーシャル・データサイエンス・プログラム)を開始



【本リリースに関するお問い合わせ先】

経済学部 mail: ecso@ml.nagasaki-u.ac.jp

情報データ科学部 mail: jyohopt@ml.nagasaki-u.ac.jp